

安藤對馬守信正 廢帝論と坂下門の變

維新史料藤澤氏資料による
史談家 鈴木光四郎

坂下の變當日の狀

文久元年正月十五日、この日は正月の十五日即ち敷入りの日であり江戸の町々には門松が立てられ市中は正月の最盛の日を樂しむ人々で満ちていた。例年のように十五日は月次式日であつて在府の諸侯は將軍に拜謁する日であつた。その前

炭勞の新賃金協定

基準賃金は坑内夫日額二九〇圓

炭勞常務支部では炭勞と鐵道との賃金協定は八日解決、十三日全國大會後假借印を行つたので、これを確證、各々を通じて、新協定賃金は左のとおり

○基準賃金日額坑内夫一六〇圓、坑内夫二九〇圓(税込み)家族手當原則一人當り月三〇〇圓、基準能率給は二十一年十月から二十三年一月までの在籍一人一日當り能率の九〇%

○團體能率給は基準賃金のほか次の比率で加算基礎能率の二〇%を越えた場合一人につき一〇〇圓、四〇%一〇〇圓六分三〇〇圓、八〇%一〇〇圓一〇分五〇〇圓、一〇〇%一〇〇圓七〇〇圓、一〇〇%八〇〇圓(税込み)

○基準外賃金に保證坑夫賃金は各社各々で取決る、賃金協定期間は四月から九月まで、ただし新物價改訂の場合ハネ返り分は政府の算出によるいしほしし、經濟變動の場合には双方協議の上で差處

○特別賃金は原則として支給せぬが非常増産のため臨時に必要ときは月額一人當り一五〇圓を最長限度として支給する(但し増産別賃金の月賦返還相當分を含む)

○増産別賃金は職員一人當り千円を賃與、返還期は五月から七月まで

炭勞支部の闘争委員会

炭勞常務支部闘争委員会は十九日午前十時から市労働會館に十三日の全國大會報告、二十日開議する支隊大會の準備

進せんとすると群集の中より詭狀を擡げて飛び出した者があつた。警備の士之を愛護せんとしたとき短銃によつて信正を狙撃する者があつた。この機に際して左右より數名の浪士がおり出て來襲した。然し櫻田の前列によつてかゝら斯かる事象の發生を察知し、櫻田は切つていた警備の士は一瞬にして浪士を切り倒し、又は逃走せしめたのであつた。死の勢で一刀のもと腕を賣られたかと思はれたが幸にも腕の動きのため切先は信正の背に刺さらずに腕を刺した。適

ぎす一命とりとめる事が出來た。信正は死より下りて悠々として徒歩で坂下門に入つたのである。應急手當をした後信正は創い、包んで御帶のまゝ悠々と平常の通り外國使館と折衝したのである。そこに列席した外國使節は信正の脚に驚きには敬服したといはれてゐる。當日の狀況を信正は次のように報告してゐる。

靖國講社 大祭上京

石城講社を元大橋正氏主催で二十一日、二十三日間、靖國神社春季大祭が行はれるので第一隊は小笠原、栗村、鹿島村、山田村、石神村、久里月三村、○基準能率給は二十一年十月から二十三年一月までの在籍一人一日當り能率の九〇%

千九百圓 十一日午前

市内中野町雜貨商芳澤さん(四二)方で現金中帳簿に隠した手提金庫から現金千九百五十円盗まれた

神經科 15

内科 精神科
新田目醫院

誠光堂獨得のサービス

お買上高金額拂戻抽籤券付大賣出し
大當り：特賞：金額拂戻しお買上高、三千圓、四千圓にても、十本、一等、二等、三等、四等、全部現金拂戻空籤なし御買上高の多少に拘らず抽籤出來ます
サービスの店

川前山火事

十日午前八時ころ川前村大字上福地内の國有雜木林から發火、約一時間ほど燃えて一時鎮火したが正午ころ又も燃えはじめ約三十分歩を焼いて午後三時ころ漸く鎮火した。原因は全村發火原因不明(七二)が肥料にヤシの糞火から

春の行樂には是非

ゴム保証付運動スツク
教材用サンダル材料
學童靴、其他運動具各種取揃へてあります
スガタ靴運動具店
中市銀座通五七

薬タバコ泥か

湯本町の二湯本町第一回野外演奏、回野外演奏は吉田義夫と其の樂隊が十三の兩日午後六時から歌と舞臺山歌で催し非常な人氣を博した

木村病院

外科 木村 將義
産婦人科 木村 寅次郎
入院隨意
平市新川町一九(電一六四)

絶賛好評開演中

キグレ空大サーカス
平市三丁目

愈々本日より(十五日)

サービスの店

誠光堂時計店

誠光堂支店
平市銀座通五七

木村病院

外科 木村 將義
産婦人科 木村 寅次郎
入院隨意
平市新川町一九(電一六四)